

「コンパクト戦略による富山型都市経営（富山市）」

課題（状況）

- ・人口減少と超高齢化への対応－高齢者が活動しやすい都市空間の形成
- ・市街地の外延的拡大による行政コストの増加
- ・高い自動車への依存による公共交通の衰退

目標（数値）

誰もが暮らしたい活力あるまちの実現

- ・公共交通の活性化と沿線への居住・商業・業務・文化等の都市機能の集積
- ・快適で質の高い魅力的な市民生活づくり

具体的取組

- ①・公共交通の活性化－富山港線路面電車化事業（公設民営で本格的LRTで再生）/ 市内電車環状線化事業（上下分離方式で環状線化、車輛の低床化・電停のバリアフリー化を行う）
- ・公共交通沿線地区への居住誘導－まちなか居住・公共交通沿線居住推進事業(助成)
- ・中心市街地活性化(グランドプラザ整備等)
- ⑤・産民学からなる多層の組織を設置
- ⑥・「コンパクトなまちづくり」との明確なビジョンとこれを実現する手段がはっきりしていること
- ・公共交通事業に公費を投入、公共交通の活性化をまちづくり実現の手段とする
- ・地域関係者の組織化と市長のリーダーシップ
- ・産民学・自治体の密接な連携による高齢化分野への民間参入

・軌道法上整備と運営を一体的に行う必要があり、「公設民営」の考え方で本格的LRT導入を進めた。

規制・環境変化

・「地域交通の活性化及び再生に関する法律」により上下分離方式での整備が可能となる(平成19年)

解決

富山市プロジェクト

- ①プログラム（行動）
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

地域資源
人材

支援政策
協力者

産学連携
技術

・国の交通部門の関係者 特になし
や国土交通省の出向者

- ・富山市環境未来都市アドバイザーグループ、環境未来都市推進協議会等で取組に助言・支援やマネジメントを行う産民学の代表者や実務者
- ・事業コンソーシアムを構成する企業等

成果（数値）

- ・LRTの利用者増(平日2.1倍、休日3.6倍)
- ・まちなか居住1,802戸、沿線居住1,020戸(H17.7～H26)/転入増に転じる(H23から)
- ・グランドプラザ整備事業によるにぎわい創出
- ・お出かけ定期券利用による高齢者の外出増
- ・中心市街地歩行者の増加と空き店舗の減少
- ・市街地再開発など民間投資の活発化

地域の変化

・「コンパクトシティ」に賛同する割合が高まる、「まちづくり」に関心を持つ市民が増える、「街がきれいになった」と感じる人が多くなるなど住民が『まちづくり』を評価するようになっている（市民アンケート調査）。

残る課題

- ・路面電車の南北接続によるLRTネットワークの形成、南部地区と都心とのアクセス強化
- ・中心市街地での歩行者専用道路の整備、富山型デイサービス施設の立地誘導による高齢者の健康増進等魅力的な市民生活づくり
- ・小水力等再生可能エネルギーを活用した農業振興・地域特産品の創出

次の行動

- ・市内電車の上滝線への乗り入れを検討
- ・再生可能エネルギーの導入を図り、穀作中心から園芸農業との複合経営へ転換を図るための実証事業を実施する。